



フォーラム

南海トラフ地震情報の活用を考える

2018年

5月19日(土)

13:10 ~ 14:50

徳島大学工学部共通講義棟(K棟)6F
創成学習スタジオ

徳島市南常三島町 2-1

定員 300名 どなたでも参加いただけます。

参加
無料

予約
不要

プログラム

- 13:10 趣旨説明
- 13:15 「南海トラフ地震情報とは？」
山内 幸治 徳島地方気象台・地震津波防災官
- 13:35 「南海トラフ地震に対する日亜化学工業の対応」
瀬山 淳 日亜化学工業株式会社 環境安全部
- 13:55 「南海トラフ地震情報の活用-緊急対応から復興まで-」
牧 紀男 京都大学・教授
- 14:25 討論

問い合わせ先

馬場俊孝

徳島大学大学院社会産業理工学研究部 社会基盤デザイン系
〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町 2-1
TEL: 088-656-9721
E-mail: baba.toshi@tokushima-u.ac.jp

交通案内

徳島駅から徒歩約30分、バス利用約20分

★ 徳島大学の駐車場は利用できません。
公共交通機関をご利用ください。

南海トラフの地震対策は四国における喫緊の課題のひとつです。昨年、政府は地震の発生時期等を確度高く予測することは困難としつつも、気象庁が異常を観測した場合に最短2時間で地震発生の可能性についての見解を出す「南海トラフ地震情報」を開始しました。

今回のフォーラムでは、この一見矛盾する南海トラフ地震情報の内容を正しく理解し、その情報を有効に活用する方策について考えます。

はじめに気象庁の方から南海トラフ地震情報について解説いただき、続いて活用方法について民間企業と専門家からお話を伺います。

